

株主 通信

2016年11月 No.43
2016年度第1・第2四半期報告
(2016年4月～2016年9月)

特集

三菱商事の経営人材

株主の皆様へ
三菱商事グループの
企業価値向上に
邁進します。

Top
Message

CONTENTS

Top Message 株主の皆様へ	3
Special Feature 三菱商事の経営人材 地球環境・インフラ事業グループ エネルギー事業グループ	8
ビジネスハイライト	12
三菱ゆかりの地を訪ねて 静嘉堂	16
CSR DREAM AS ONE. 復興支援	18
会社情報	22

2016年度通期見通しを上方修正

業績

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年度第2四半期連結決算、および2016年度の通期業績見通しについて、ご報告申し上げます。

2016年度第2四半期の三菱商事グループの連結純利益は1,798億円となり、前年同期比で249億円の増益、5月10日に公表しました通期業績見通し(連結純利益2,500億円)に対する進捗率は72%となりました。

非資源分野では、前年同期に計上した一過性利

益の反動などにより減益となったものの、資源分野の豪州石炭事業における生産コスト改善や市況上昇による持分利益の増加などにより、全体として増益となったものです。

また、第2四半期の実績、および資源価格の上昇などを踏まえ、2016年度の通期業績見通しを3,300億円(期初公表見通し比+800億円)に上方修正しました。

資源価格は引き続き流動的な状況が見込まれるため、その動向に一喜一憂せず、『中期経営戦略2018』で掲げる「資源と非資源のバランスの見直し」を着実に実行してまいります。

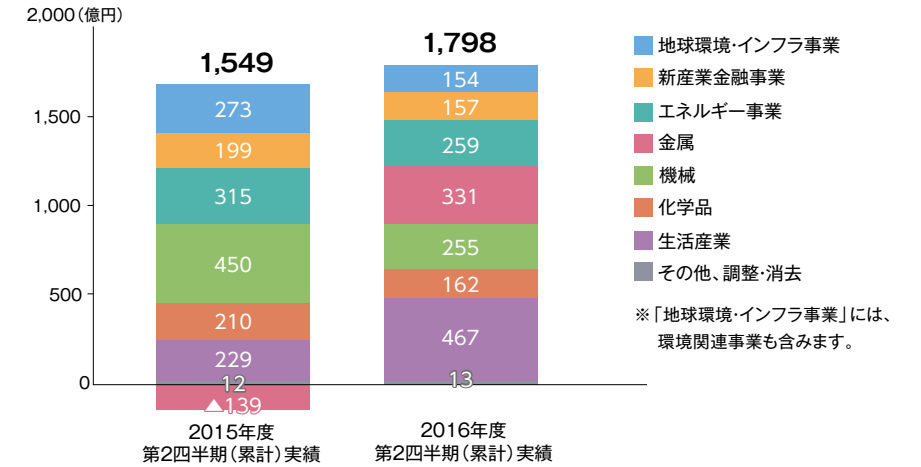
配当

『中期経営戦略2018』では、株主還元については配当を基本とし、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を基本方針としております。

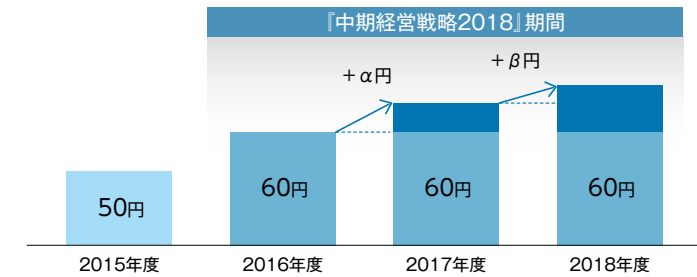
2016年度の中間配当につきましては、1株当たり30円とし、年間配当は5月10日に公表した「1株当たり60円」を予定しております。



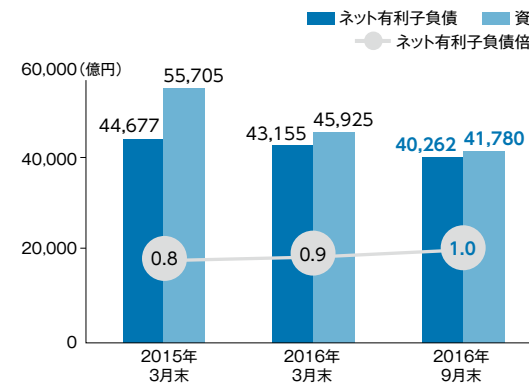
セグメント別連結純利益の推移



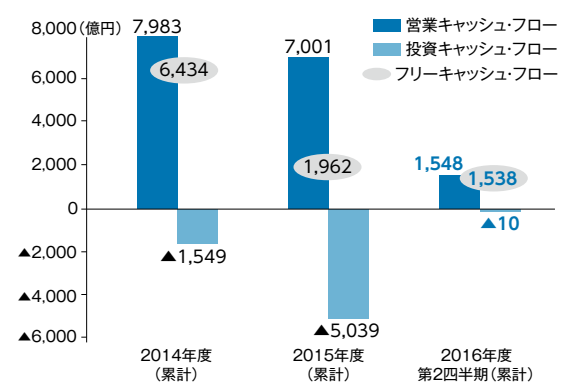
株主還元



資本と有利子負債



キャッシュ・フロー



経営人材の育成を通じて「事業経営モデル」へのシフトを推進

三菱商事は、創立以来、世の中の変化に対応しながら、事業モデルを進化させてきました。

2016年度からの3カ年の経営計画『中期経営戦略2018』では、これまでの成長の源泉を「投資」に求める発想を転換し、三菱商事の強みをベースに、より深く経営に入っていくことで、事業を変革して新

たな価値を創出したり、合従連衡等により事業構造を改革したり、事業再生により企業価値を向上させていくことを目指します。

事業投資モデルから事業経営モデルへのシフトを実現する鍵は、環境の変化に柔軟に対応できる想定力を備え、事業の経営を主体的に行うことのできる、

経営能力の高い人材をより多く育成・輩出できるかだと考えています。現在、三菱商事グループの関係会社は1,000社を超え、経営のできる人材が育つ「場」は十分にあると考えます。

私は、三菱商事の財産は人材であると考えます。今後も全社を挙げて経営人材の育成に取り組む、その人材が新たな事業を生み出すことで会社を発展させていく、そうした好循環を実現することで三菱商事グループの企業価値の向上に邁進していく所存です。

今後とも、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

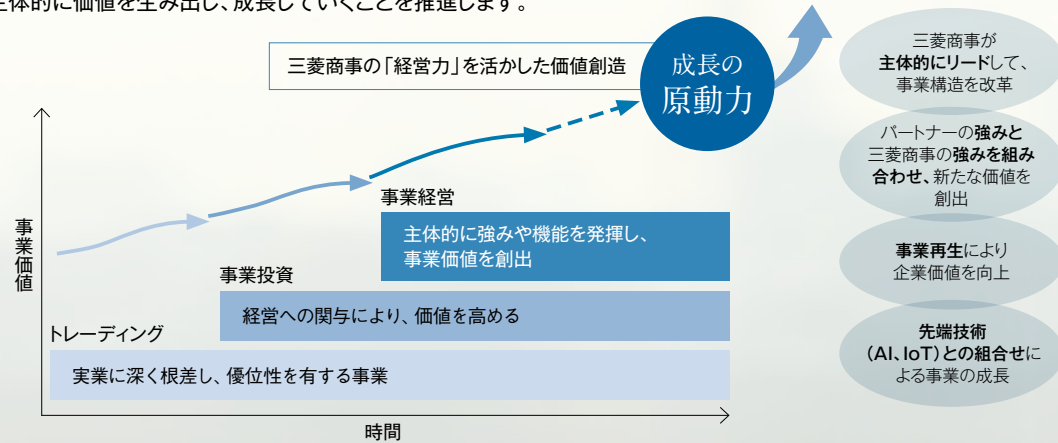
2016年11月
代表取締役 社長

垣内 威彦



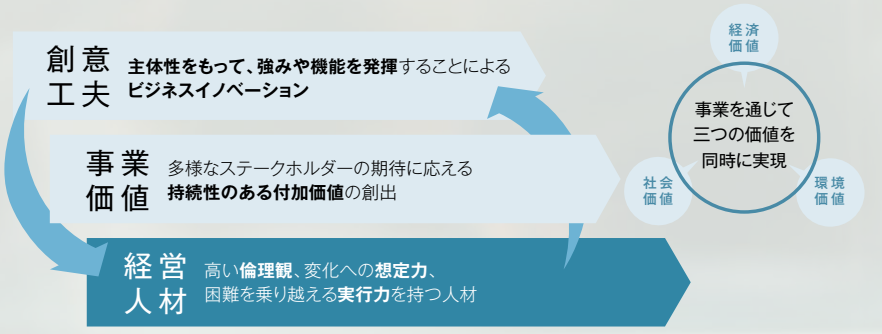
「事業投資」から「事業経営」へのシフト

これまでの成長の源泉を「投資」に求める発想を転換し、事業の中に入り、三菱商事の「経営力」をもって主体的に価値を生み出し、成長していくことを推進します。



- 三菱商事が主体的にリードして、事業構造を改革
- パートナーの強みと三菱商事の強みを組み合わせ、新たな価値を創出
- 事業再生により企業価値を向上
- 先端技術 (AI, IoT) との組合せによる事業の成長

目指す企業像



- 創意工夫** 主体性をもって、強みや機能を発揮することによるビジネスイノベーション
- 事業価値** 多様なステークホルダーの期待に応える持続性のある付加価値の創出
- 経営人材** 高い倫理観、変化への想定力、困難を乗り越える実行力を持つ人材

- 経済価値
- 社会価値
- 環境価値

三菱商事の経営人材

国内外で実際に経営に携わるにより多くの経営者が育つことは、三菱商事グループの企業価値向上につながります。現在、海外で経営の最前線に立つ2人の社員に焦点を当て紹介します。



ビジネスモデルを絶えず 変化させながら、 持続的な成長を目指す

Diamond Generating Corporation (DGC)
Chief Executive Officer (CEO)

濱田 哲

地球環境・インフラ事業グループ

発・建設・運転・保守に取り組んでいます。現在、ガス火力発電所8カ所、風力発電所2カ所が稼働中であり、2件が建設中です。DGCの陣容は総勢67名。業務拡大に伴い、次年度は20名程度の新規雇用を行う予定です。

「CEOの一番大事な仕事は、職場を活性化させて、個々の能力を最大限に引き出すこと」と濱田。プロ意識が高く、多様なバックグラウンドや考え方を持つ社員が多い米国企業において、一人ひとりを管理するのではなく、大きなビジョンを示し、そこに向かって社員を集中させるように意識しています。

「大切なのは、みんながワクワクするような5年後、10年後のビジョンが共有できること。ただし、独りよ

夢と現実のバランスが取れた ビジョンが大切

「三菱商事グループの成長の一翼を担う会社として、電力事業をより規模感のあるビジネスに育て、持続的成長に導くことが、私のミッションです」

こう語るのは、2015年5月、DGCのCEOに就任した濱田。米国ロサンゼルスに本社を構えるDGCは、三菱商事の北米電力事業の拠点として、発電所の開

かりでは誰もついてきてくれません。自分がやりたいからではなく、あくまでも会社が持続的な成長を実現するために何をしなければならないかという視点で、夢と現実のバランスが取れたビジョンを描くことを心がけています」

そんな濱田が「振り返ると、これまでの全ての経験がチェーンのようにつながって、今の自分がある」と語る経験が、入社8年目に携わったメキシコ天然ガス複合火力発電所建設プロジェクトでした。

「ファイナンス組成の主担当を初めて任され、利害や立場が違う人たちを取りまとめるためには、目標をまず明確にし、具体的なプランを示して進捗状況を常に確認することが大切であると痛感しました」

また、2013年から2年間、経営企画部に所属し、他の事業グループも含めたさまざまな案件に触れる中で、社員の前向きな気持ちを引き出すために、成長への道筋をきちんと描くことの重要性を学んだといいます。

将来を見据えた 新たな成長の芽を探す

DGCでは、2020年に向けて利益倍増を目標に掲



DGCが保有するSentinel発電所(米国カリフォルニア州)



垣内社長(前列右から3番目)がSentinel発電所を訪れた時の様子

げています。社内で具体策を検討するに当たり、CEOに就任した濱田が最初に取り組んだのは、自分たちの足元をいま一度見直し、DGCが果たすべき役割を社員一人ひとりにきちんと認識してもらうことでした。「三菱商事における電力事業の位置付けやDGCへの役割・期待について説明したところ、みな刺激を受けた様子で、グループの一員としての意識がより強まったと手応えを感じました」と濱田は振り返ります。

その上で、将来の環境変化を見据え、ガス火力発電に続く新たな事業分野の開拓をテーマに、社内で徹底的な議論を行いました。

「新しいことをやることだけに価値があるわけではありません。本当に潜在成長力を秘め、勝機をつかめる事業は何か。ありとあらゆるビジネスモデルを想定し社内で検討を重ね、出した結論が、エネルギーを地産地消する分散型太陽光発電事業への取り組みです」

現状に満足するのではなく、世の中の変化に合わせて自分たちのビジネスモデルを絶えず変化させながら、会社をさらに成長させたい——。濱田の情熱は社内に伝播し、持続的成長に向けたDGCの歩みはより確かなものになっています。

フェアな姿勢で 情熱を持って経営に当たる



Diamond Gas Management Canada (DGMC)
Executive Vice President (EVP)

岡部 道彦

エネルギー事業グループ

出向を経て海外グループ企業の経営を担う

「海外グループ企業の経営を担うのは、三菱商事に入社した頃から思い描いていた一つの目標でした」と語る岡部は、2015年よりカナダ カルガリーにオフィスを置くDGMCのEVPとして事業経営に携わっています。DGMCは、西カナダにおけるシェールガス生産と、三菱商事がシェル、韓国ガス公社、中国石油天然気集団と共に計画しているLNG（液化天然ガス）輸出プロジェクト「LNGカナダ」の事業化を行っています。

1992年の入社以来、岡部は長年にわたってLNG事業に関わってきました。近年の貴重な経験として振り返るのが、2014年から1年間のLNG Canada Development社への出向です。従業員約200名のうち日本からの出向者は数名しかおらず前任者もい

ない環境の中、与えられたミッションはパイプラインの交渉責任者として、1年以内に、主契約に付随する10件の契約を、株主の同意をすべて取り付けた形でまとめるというものでした。

「パイプラインに携わったことがない自分にそんな大役が務まるだろうか」

自分から行動を起こさないと、誰も自分に関わってくれない外資系企業特有の雰囲気戸惑いながらも、昼間は交渉の準備に追われ、帰宅後は1,000ページもある英語の契約書を深夜まで読み込む日々が続きました。「正直逃げ出したくなる時もあった」という岡部を奮い立たせたのは、「三菱商事の看板を

背負っている以上、何があっても絶対にやり切る」という強い気持ちでした。約束通り契約をまとめ上げたことで、上司、同僚の信頼を勝ち得ることができ、また大きな自信につながりました。

高い志と情熱を持って 社員一人ひとりと向き合う

DGMCの経営に日々当たっている岡部が常に意識しているのは、「フェアであること」、そして「自らの良識に基づいた判断力」です。「フェアな経営に徹しなければ事業パートナーの信頼を失うだけでなく、途端に求心力をなくして社員のやる気が削がれてしまう」と岡部。また、これまでの経験を経て培ってきた自らの良識に基づいた判断力の大切さは、LNG Canada Development社への出向時に、交渉のプロとして活躍していたかつての上司から教えられたもの。「全ての交渉事のコツは、己の経験を基に、正しいと信ずるところに従うこと。奇をてらわず、自分が培ってきた良識に従って判断すればいい」という言葉



DGMCが手掛けるシェールガス田「モントニー」の生産現場



世界各国から社員が集うDGMCのメンバー

は、経営者として日々判断を求められる今でも大切な指針となっています。

DGMCの従業員は総勢約30人。さまざまな国籍や価値観を持った社員が集まる中で、岡部は「高い目標を掲げること」「情熱を持つこと」を胸に、一人ひとりの社員と日々向き合っています。

「高い目標を掲げ会社の未来を語ることは、リーダーに求められる重要な要素です。そして何よりも私がか大切にしているのが、情熱を持って社員と接すること。社員が一人にならない環境をつくることを意識しています」

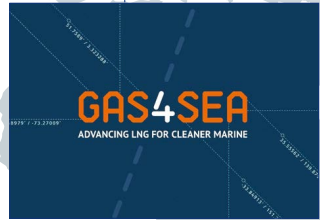
かつて自分がくじけそうになったとき、多くの上司から激励の言葉をかけられ、勇気づけられた経験は、今も岡部の心に刻まれています。

三菱商事の北米エネルギー事業において、DGMCの存在感は年々大きくなっています。「西カナダで取り組んでいるシェールガス資産『モントニー』はコスト競争力が高く、新たなビジネスチャンスが期待できます。失敗は許されないという緊張感と覚悟を持って、三菱商事の将来につながる仕事を何としてもやり遂げたい」。

岡部の挑戦に終わりはありません。

BUSINESS HIGHLIGHT

ビジネスハイライト～2016年度上半期～



- A** 4月15日/日本
生活産業グループ
オラム社と食品原料販売の合併会社
MCアグリアライアンス設立に合意
- B** 4月20日/米国
地球環境・インフラ事業グループ
ペンシルバニア州の天然ガス焚
火力発電プロジェクトに参画→P15ご参照
- C** 5月17日/米国
新産業金融事業グループ
シリコンバレー域内新興企業向け
投資ファンドを設立
- D** 5月17日/オーストラリア
地球環境・インフラ事業グループ
キャンベラ市都市交通システム運営の
事業権契約を締結
- E** 7月1日/インドネシア
エネルギー事業グループ
タンゲールLNG(液化天然ガス) 拡張プロジェクトの
最終投資決定→P15ご参照
- F** 7月12日/ミャンマー
新産業金融事業グループ
ヤンゴン市中心部の大規模複合再開発事業に着手→P14ご参照
- G** 7月27日/ベトナム
新産業金融事業グループ
ハノイ市の分譲住宅開発事業に参画→P14ご参照
- H** 8月10日/米国
地球環境・インフラ事業グループ
分散型太陽光発電事業者であるNexamp社に出資
- I** 9月6日/ベルギー
エネルギー事業グループ
船舶燃料用LNGの供給・販売の全世界ブランド「Gas4Sea」の立ち上げ
(世界初となる大型LNG燃料供給船を利用したLNG燃料供給・販売事業をスタート)
- J** 9月9日/米国
地球環境・インフラ事業グループ
メキシコ湾で洋上原油生産設備 (FPSO) 事業の生産開始
- K** 9月13日/インド
機械グループ
インド市場向けエレベーターの現地生産を開始

アジアで不動産開発事業を積極展開

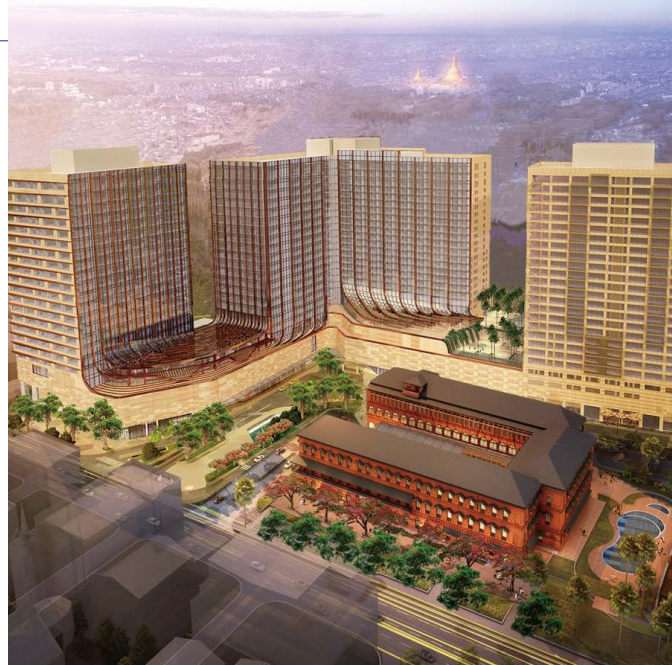
経済成長に伴い不動産市場が拡大しているアジアにおいて、現地の有力パートナーと提携し、複合再開発事業や分譲住宅事業を主体的に展開しています。

2016年7月、ミャンマーの大手企業グループSerge Pun & Associates (SPA)、三菱地所、海外交通都市開発事業支援機構、アジア開発銀行、および国際金融公社と、同国最大の都市ヤンゴン中心部の大規模複合再開発事業

Landmark Projectに着手することに合意。SPAグループがオフィス等を運営してきた約4haの敷地を再開発し、新たにオフィス2棟、分譲住宅、ホテル・サービスアパート、および商業施設を合わせ、総延床面積約22万㎡を開発・運営します。インフラ・社会基盤整備を重要課題とする同国において、長期にわたり経済発展を支える基盤となるプロジェクトです。



「Landmark Project」完成イメージ(ヤンゴン市)



「Landmark Project」完成イメージ(ヤンゴン市)

また、同月、ベトナムの首都ハノイでも、同国大手不動産デベロッパーBitexcoが進める分譲住宅開発事業への参画も決定。三菱商事が参画するのは、ハノイ市南西のホアンマイ区で進められている住宅、商業、オフィス、学校、スポーツ施設などの大規模複合開発事業The Manor Central Park (TMCP) Project (計画地面積90ha)のうち、分譲住宅開発の第1期計画である低層棟240戸、高層棟2棟1,036戸となり、総事業費は約300億円の見込みです。堅調な経済成長を背景に、分譲住宅のニーズが高まる同国において、高付加価値の不動産開発、関連サービスを提供します。

今後も、世界各国で展開する不動産開発事業で培った三菱商事の知見・ノウハウと、世界のパートナー企業との幅広いネットワークを活かし、付加価値の高い都市インフラの開発、サービスの提供に努めていきます。

米国で天然ガス火力発電プロジェクトに参画

地球環境・インフラ事業グループ



「ペンシルバニア州 ウェストモアランド発電所」完成イメージ

2016年4月、米国ペンシルバニア州の天然ガス火力発電プロジェクトに参画しました。三菱商事100%子会社の米国発電事業統括会社Diamond Generating Corporation (DGC)を通じて、開発事業者のTenaskaと共同で同州ウェストモアランド郡に発電容量92万kWの天然ガス複コンバインドサイクル発電所を建設。2019年度に商業運転を開始予定で、稼働後は米国北東部13州およびワシントンDCをカバーする同国最大の電力市場に売電します。

本件は、DGCが米国北東部で手がける2件目の発電プロジェクトです。本プロジェクトを通じて、米国における電力の安定供給に貢献し、今後も積極的に電力事業を展開します。

インドネシアのタングーLNG拡張プロジェクト、最終投資を決定

エネルギー事業グループ

2016年7月、三菱商事が携わるインドネシアのタングーLNG事業において、同事業拡張プロジェクトの最終投資決定を行いました。本プロジェクトは、インドネシア西パプア州でBPがオペレーターとなり推進しているタングーLNG事業にて、現在年間760万トンを生産する液化設備2系列に、年間380万トンの生産能力を持つ第3系列を増設するもので、2020年中の生産開始を目指します。三菱商事は、本プロジェクトを通じて、増加が予想される同国のエネルギー需要を支えるとともに、日本へのエネルギーの安定供給にも貢献します。



既存の液化プラントとLNGタンク、棧橋
(2016年第3四半期より拡張工事着工予定)

三菱ゆかりの地を訪ねて

静嘉堂 せいかどう

東京都世田谷区の閑静な住宅街の丘の上に立つ静嘉堂文庫と静嘉堂文庫美術館。

三菱第二代社長の岩崎彌之助と第四代社長の岩崎小彌太の父子二代によって収集された、

国宝7点、重要文化財84点を含む約20万冊の古典籍と6,500点の東洋古美術品が収蔵されています。



東洋の美と知の集積



必見!
静嘉堂の
至宝たち



【国宝】

俵屋宗達「源氏物語関屋・澹標図屏風」

江戸時代17世紀

琳派の祖として知られる俵屋宗達の作品。大胆な画面構成、巧みな色使いなど宗達画の魅力伝える傑作。3年かけて修理を行いリニューアルオープン展にて10年ぶりに披露された。



【国宝】

曜変天目(「稲葉天目」)

南宋時代12～13世紀

鮮やかな光彩で見る人を魅了する中国・南宋時代の茶碗。現存するのは世界に3碗のみで、静嘉堂の所蔵品は最も鮮やかな一碗として知られる。

【重文】

尾形光琳「住之江蒔絵硯箱」

江戸時代18世紀

大胆で華麗な画風で後世の画家に大きな影響を与えた尾形光琳作の硯箱。光琳蒔絵の頂点を示す作品の一つ。



【重文】

「木造十二神将立像」7軀のうち「卯神像」

鎌倉時代13世紀

鎌倉彫刻の特色がよく表れた立像。運慶作と推定されている。12の木造神将像のうち、5軀を東京国立博物館、7軀を静嘉堂で所蔵。12軀全て現存するのは貴重。

DREAM AS ONE.

～ともに一つになり、夢に向かって～

ウィルチェアーラグビー

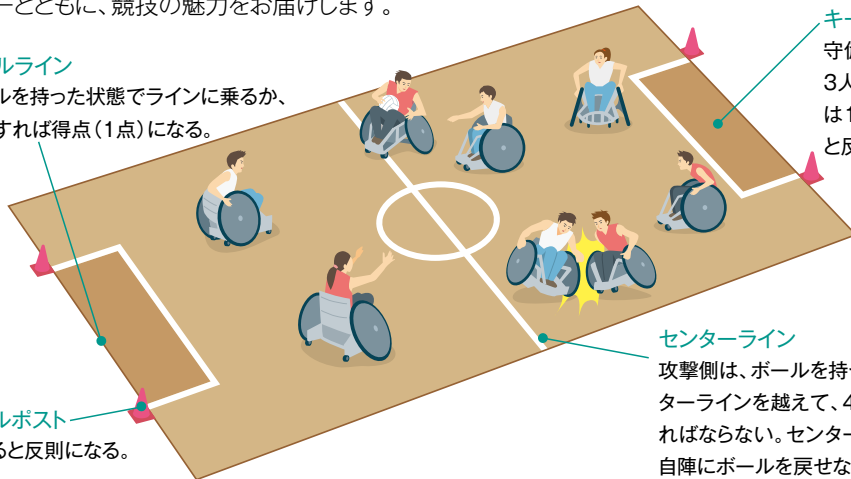
2014年10月に三菱商事が立ち上げた障がい者スポーツ応援プロジェクトDREAM AS ONE.。その活動の一環として、三菱商事は、日本ウィルチェアーラグビー連盟のオフィシャルパートナーを務めています。三菱商事の社員であり、見事リオパラリンピック銅メダリストとなった池崎選手・今井選手のインタビューとともに、競技の魅力をお届けします。

ゴールライン

ボールを持った状態でラインに乗るか、通過すれば得点(1点)になる。

ゴールポスト

触れると反則になる。



キーエリア

守備側が同時に入れるのは3人まで。攻撃側が入れるのは10秒間で、これを超えると反則になる。

センターライン

攻撃側は、ボールを持ってから12秒以内にセンターラインを越えて、40秒以内にゴールしなければならない。センターラインを一度越えると、自陣にボールを戻せない。

ウィルチェアーラグビーの基本ルール

- コートの広さは、バスケットボールと同じ。
- 1ピリオド8分間、合計4ピリオド32分間で得点を競い合う。
- 出場できるのは4人。障がいの程度により各選手に持ち点が設定され、コート上の選手の持ち点合計点は8点以内とする。
- ボールは、投げて転がしても、前方へパスしてもOK。ボールを持った選手は、10秒以内に1回ドリブル、または味方にパスしなければならない。

社内で開催された応援会で歴史的瞬間を見守った三菱商事グループ社員とその家族



祝勝会冒頭に行われた表彰式の様子

祝!
リオパラリンピック
銅メダル獲得!

池崎大輔選手、今井友明選手に聞く

ウィルチェアーラグビー日本代表不動のレギュラーで、メダル獲得の原動力となった三菱商事社員の池崎大輔選手、今井友明選手に話を聞きました。

——悲願のメダル獲得、おめでとうございます。

今井 ありがとうございます。このメダルには、応援してくれた皆さんの熱い想いがいっぱい詰まっています。表彰台に上がった時、成し遂げたことの重みを感じました。会社から贈られたメッセージ入りの国旗も大きなパワーとなって、私たちが力強く後押ししてくれました。

池崎 そうですね。くじけそうになった時、皆さんの声援を思い出し、強い気持ちを持って試合に挑むことができました。また、祝勝会を開いていただき、たくさんの社員に祝福され、本当に感動しました。目標の金メダルには届きませんでしたが、ウィルチェアーラグビー日本代表にとって初のメダル獲得。皆さんと、この喜びを分かち合いたいと思います。

——ウィルチェアーラグビーの魅力について教えてください。

今井 何ととっても、コンタクトスポーツならではの

「激しさ」です。車いす同士がぶつかり合った時の衝撃音は迫力満点。詳しいルールが分からなくても十分に楽しめますので、ぜひ会場で、この激しさを生で体感いただきたいですね。

池崎 チームメイトと協力し、正確なパスワークで相手

ディフェンスを抜き去る「繊細さ」にも、ぜひ注目してください。また、障がいの軽い選手・重い選手に幅広く出場機会が与えられるため、誰もがヒーローになれるのもこの競技の魅力です。

——今後の抱負をお願いします。

今井 今回経験した

喜びや悔しさを胸に刻み、これからの4年間、さらにトレーニングを積んで、次の東京大会ではぜひ金メダルを獲得したいと考えています。

池崎 新たにウィルチェアーラグビーを始めたいと思う人が増えれば、日本全体の底上げにつながり、さらに上のメダルも狙えます。認知度を高められるよう、今まで以上に「結果」にこだわって頑張っていきたいです。



池崎選手

今井選手

復興支援

福島県産の果実を使ったリキュールを新発売

2015年10月、福島県郡山市にオープンした「ふくしま逢瀬ワイナリー」がこの冬、新たに桃と梨のリキュールを発売します。

ふくしま逢瀬ワイナリーは、福島の果樹農業の6次産業化を支援する「ふくしまワイナリープロジェクト」の一環で建設された醸造施設。2015年2月、公益財団法人 三菱商事復興支援財団が郡山市と連携協定を結び、果実の生産から加工・販売までを一貫して行う新たな事業モデルの構築を目指して取り組んでいます。

今回発売されるのは、福島県産の桃から造ったリキュール約2,500本、同じく福島県産の梨から造ったリキュール約2,200本。フルーツブランデーベースのリキュールはヨーロッパの伝統的なお酒で、広く愛されています。そのまま冷やしてストレートで、またはロックやソーダ割り、カクテルにもお勧めです。ふくしま逢瀬ワイナリーをはじめ、ホテル・旅館・レストラン・観光施設・お土産店など福島県内を中心に販売予定です。



伊達農園・小野大樹さんが育てた桃を使用しています

OUSE Pêche

福島県産の桃「あかつき」を低温発酵後、銅製釜で蒸留したフルーツブランデーがベースのリキュールです。蒸留により引き出される桃の芳醇な香りや、甘味のある濃厚な果実感と、ハーブのまろやかな味わいにより、桃の華やかさが一層楽しめます。



OUSE
WINERY
Fukushima

OUSE
Poire
Japonaise

OUSE
Pêche



伊藤梨園・伊藤正且さんが育てた梨を使用しています

OUSE Poire Japonaise

福島県産の梨「幸水」と「豊水」を低温発酵後、銅製釜で蒸留したフルーツブランデーがベースのリキュールです。蒸留により引き出される梨の爽やかな香り、みずみずしい甘味、程よい酸味とハーブのまろやかな味わいにより、梨の豊かな風味が楽しめます。

福島のファンになりました! /

～グループ社員がボランティアで、リンゴの葉摘み作業に汗を流す～



2016年10月、「ふくしまワイナリープロジェクト」にともに取り組む福島市の果樹園やまとは、1,000本のリンゴの木が実りの時を迎えようとしていました。1本の木には約500個の実がなります。ムラなくきれいな色になるよう、リンゴの実に日陰をつくる葉を摘み取る作業を、三菱商事グループの社員がボランティアでお手伝いしました。

ボランティア参加者の声

- 現業に加え、新たな事業にも積極的にチャレンジし、自分の子どもや孫たちが安心して暮らせる場所を残したいという農家の方の強い志に感動しました。
- 福島で人手のかかるリンゴ栽培を体験できたことは、地域の復興を考える良い機会になりました。また、今回の経験で福島へのファンになり、今後も応援していきたいと思いました。

三菱商事アート・ゲート・プログラムの作品をラベルに採用

2016年春、ふくしま逢瀬ワイナリーが発売したスパークリングワインとシードルには、「三菱商事アート・ゲート・プログラム」の応募作品が使用されています。

三菱商事アート・ゲート・プログラムは、三菱商事が社会貢献活動として取り組む、プロアーティストを志す方々へのキャリア支援プログラム。公募により作品を1点10万円で購入し社内外に展示した後、オークションを開催し、売上金を応募者に奨学金として還元しています。

多くの若手画家が、本プログラムの作品展やオークションを通じたお客様との出会いから、展覧会の開催

MITSUBISHI CORPORATION
ART GATE PROGRAM

や新作受注などステップアップにつながるチャンスを得ており、確実に実績を積み重ねています。

ふくしま逢瀬ワイナリーでは、今後も「アート・ゲート・プログラム」をはじめとした絵画作品を用いたアートラベルを展開していく予定です。



応募作品が使用されたラベル

会社情報

コーポレートデータ (2016年9月30日現在)

社名 三菱商事株式会社
 創立 1954年7月1日(設立1950年4月1日)
 資本金 204,446,667,326円
 本店登記地 三菱商事ビルディング 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号
 従業員数 連結68,247名、単体 5,379名 ※2016年3月31日時点の就業人員数を記載しています。
 連結対象会社数 1,253社

取締役および監査役 (2016年9月30日現在)

取締役会長 小林 健	取締役(社外) 加藤良三
*取締役社長 垣内威彦	取締役(社外) 今野秀洋
*取締役副社長執行役員 田邊栄一	取締役(社外) 西山昭彦 (一橋大学特任教授)
*取締役常務執行役員 森和之	取締役(社外) 大宮英明 (三菱重工業(株)取締役会長)
*取締役常務執行役員 廣田康人	取締役(社外) 岡俊子 ((株)岡&カンパニー 代表取締役)
*取締役常務執行役員 増一行	常任監査役(常勤) 鍋島英幸
	監査役(常勤) 木崎博
	監査役(社外) 國廣正 (弁護士)
	監査役(社外) 西川郁生 (慶應義塾大学商学部教授)
	監査役(社外) 高山靖子

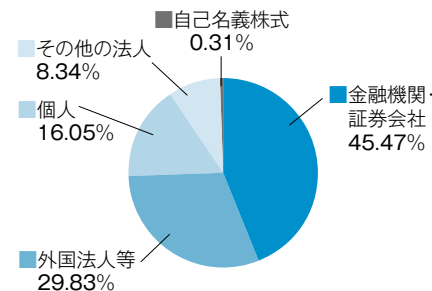
※*は代表取締役を示しています。
 ※すべての社外取締役および社外監査役を、(株)東京証券取引所など、国内の金融商品取引所が定める独立役員として指定しています。

株式等の状況 (2016年9月30日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数 25億株
 発行済株式総数 1,590,076,851株
 株主数 259,004名

株主構成(所有者別の割合)



三菱商事の事業活動や環境・CSR、投資家情報、最新の統合報告書など詳しくはウェブサイトをご参照ください。
<http://www.mitsubishicorp.com>

株主メモ

証券コード	8058	株主名簿管理人・特別口座管理機関
上場証券取引所	東京、名古屋	三菱UFJ信託銀行株式会社
単元株式数	100株	(連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月開催	0120-232-7111 (通話料無料)
期末配当金支払株主確定日	3月31日	
中間配当金支払株主確定日	9月30日	※住所変更等の各種手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
公告方法	電子公告	※支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、および特別口座に記載された株式に関する手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、官報に掲載します。
 〈公告掲載アドレス〉 <http://www.mitsubishicorp.com>

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要があります。

●株式関係事務におけるマイナンバーの利用目的

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

●マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-232-7111 (通話料無料)

植樹News

2011年度よりスタートした株主の皆様とともに推進する地球環境の保全・改善活動「株主の皆様と共に育む豊かな森づくり」。「株主総会招集ご通知」や「株主通信」など、株主の皆様へ紙で郵送している資料をEメールでお送りすることにご賛同いただきますと、株主一人様につき半期に1本、マレーシアで植樹を行います。2016年度上半期は、2万633名の皆様にご協力いただき、これまでに累計25万9,353本の植樹が実現しました。

※詳しくはHPをご覧ください。 [三菱商事 森づくり](#) [検索](#)



漆芸名品展

—うるしで伝える美の世界—

2016年10月8日(土)～12月11日(日)



重文「羯鼓催花・紅葉賀図密陀絵屏風」
桃山～江戸時代初期(17世紀)
※会期中展示替えがあります。



牡丹堆朱棊花盆
明時代 永楽年間(1403～24)

古来、天然の美しい塗料、あるいは接着剤・保護膜として用いられてきた“うるし”。静嘉堂の漆芸コレクションは、飲食器や文房具、調度品等のほか、天目台や香台といった伝世の茶道具、多数の印籠も含んでおり、幅広く豊かな内容を持つものです。

本展では、日本・中国・朝鮮・琉球等の漆芸品から優品を精選、10年ぶりに公開しています。類例のない漆の屏風、重文「羯鼓催花・紅葉賀図密陀絵屏風」も修理後、つやも蘇って初公開中です。また、国宝「曜変天目」を天目台にのせた姿で特別公開します。“うるし”によって伝えられた美の世界を、お楽しみください。

静嘉堂文庫美術館の展覧会

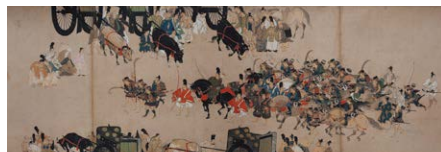
超・日本刀入門

～名刀でわかる・名刀で知る～

2017年1月21日(土)～3月20日(月・祝)



てがいかねながたち
国宝「手掻包永太刀」
鎌倉時代(13世紀)
および
つばはききりもんいとまきたちごしらえ
「附 菊桐紋糸巻太刀拵」
江戸時代(18～19世紀)



重文「平治物語絵巻 信西巻(部分)」鎌倉時代(13世紀)
※会期中展示替えがあります。

武士の魂“日本刀”は、1000年におよぶ歴史の中で、武器として武人を鼓舞し、美術品としても鑑賞されてきました。近年ブームに沸きながら、しかし道具としても美術品としても身近ではない日本刀。「どこを見ればいいのか分からない」「専門用語が難しすぎる」といったさまざまな疑問やお悩みを徹底的に解決します! 国宝「手掻包永太刀」をはじめとする、えりすぐりの名刀約30振から、日本刀の主な見どころ「姿」「刃文」「鍛え肌」の鑑賞や、刀剣の歴史や産地、戦国武将と名刀の逸話など、めくるめく刀剣の魅力に迫ります。

今後の展覧会の予定 挿絵本の楽しみ 2017年4月15日(土)～5月28日(日) 詳しくは、以下の連絡先にお問い合わせください。

静嘉堂文庫美術館のご案内

住 所 東京都世田谷区岡本2-23-1
T E L 03-5777-8600(ハローダイヤル)
入 館 料 一般1,000円・大高生700円(20名以上団体割引あり)、
中学生以下無料
アクセス 二子玉川駅バスターミナル④番から「玉31・32系統」で
「静嘉堂文庫」下車徒歩約5分、または二子玉川駅から
タクシーで約10分
開館時間 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌火曜日休館)
ただし、展示替作業のため、臨時に休館することが
ありますので、詳しくはホームページをご覧ください。
U R L <http://www.seikado.or.jp/>

